



The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships
30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534

Tel: 81-3-3888-8256 Fax: 81-3-3888-8264 E-mail: shouhei-au@aots.jp URL: <http://www.aots.jp/>

技術協力活用型・
新興国市場開拓事業
(研修・専門家派遣事業)

2019年7月

募集要項

成長市場におけるICT活用研修コース

**The Program on Information and Communication Technology
in Emerging Market Economies**

[PICT]

2019年11月27日～12月10日

1. コース開設の背景：

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修および専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTS は 1959 年（昭和 34 年）8 月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2016 年度（平成 28 年度）までに世界 171 カ国から延べ 186,000 人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ 199,000 人余りが参加しています。

「成長市場における ICT 活用研修コース（PICT）」は、一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）が実施する管理研修コースの 1 つで、全開発途上国を対象として、日本企業で実践されている ICT 活用方法やその根底にある考え方を学ぶために設計されています。製造業や物流業等のサービス産業における経営者、経営幹部が、自社において ICT 活用を推進していくために必要な企業経営能力を高めることを目的としています。

2. 対象国：

対象国・地域一覧をご確認ください。

<http://www.aots.jp/jp/ikusei/files/taishokoku.pdf>

尚、中国については、本コースでは対象といたしません。

3. 参加者の人数：

22 名

4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 原則として、
 - ①製造業または物流業等において、経営に責任を有する経営者または経営幹部の方。
 - ②企業経営における ICT 活用に携わり、自社の ICT 導入・推進について、経営トップに直接進言できる立場にある上級管理者の参加も可能とする。
 - ③製造業・物流業等向けのシステム開発等を行う企業でシステム開発に従事する中・上級管理者の参加も可能とする。
 - (2) 原則として、年齢は 20 歳以上の方
 - (3) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
 - (4) 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
（高い英語能力が必要です。参加者選考の際には英語で討論する能力を特に重視します。）
 - (5) 心身健康な方
 - (6) 開発途上国または地域に居住の方
 - (7) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
 - (8) 過去に低炭素技術輸出促進人材育成事業及び技術協力活用型・新興国市場開拓事業（研修・専門家派遣事業）の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183 日）以内に開始されるコースに応募することはできません。
- * 勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方が望ましい（日系企業や日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が高くなります）。

注意：

- (1) コース参加者は、研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。
- (2) 日本へ家族を同伴することはできません。
- (3) 参加者は AOTS に対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、実地研修を計画し、AOTS の承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) 日系企業や現地資本企業以外からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が低くなります。
- (5) AOTS の管理研修コースは、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関に所属する方は参加できません。
- (6) 申し込み人数が定員を上回る場合は、日本の受入企業または海外の派遣企業 1 社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

5. 応募方法：

日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む場合と、海外の現地法人が直接 AOTS に申し込む場合は、応募方法、提出書類等が異なりますので、ご注意ください。

（日本国内の法人を通じてのお申込みの場合）

AOTS のホームページ内の以下の案内をご参照の上、応募書類一式を **2019 年 9 月 17 日（火）** までに、AOTS 研修・派遣業務部（10．お問合せご参照）に到着するよう提出してください。

<http://www.aots.jp/jp/ikusei/management/proc01.html>

※上記 AOTS 所定様式は当協会ホームページからダウンロードできます。

【日本語】 <http://www.aots.jp/jp/ikusei/training/doc01.html>

（海外の現地法人から AOTS に直接お申込みの場合）

AOTS 海外事務所もしくは海外協力団体を通して、以下の応募書類一式を **2019 年 9 月 17 日（火）** までに AOTS 事業統括部に到着するよう提出してください。

応募書類の提出期限は、各団体によって異なりますので、AOTS 海外事務所もしくは AOTS 事業統括部（10．お問合せご参照）にお問合せください。

お申込者には AOTS 海外事務所もしくは海外協力団体による面接をさせていただきます。

- (1) 研修申込書、研修生個人記録申告書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）
- (2) 問診書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）
- (3) 顔写真（4×3cm）2 枚（裏面に名前を書いてください）
- (4) 勤務先概要を紹介する資料
- (5) パスポートコピー
※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの）を提出してください。
- (6) 事前研修レポート
- (7) 海外旅行保険承諾書（AOTS 所定様式）
- (8) 研修生個人情報の取り扱いについて（AOTS 所定様式）
※この書類は、本人が署名の上ご提出ください。内容に同意いただけない場合、または未提出の場合、コースへの参加が認められません。
- (9) 管理研修の研修効果について（AOTS 所定様式）
※この書類は、質問形式となっております。原則として本人の勤務先の代表者の方がご記入ください。（本募集要項の最後にこの様式があります。）
- (10) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用）

注意：

※ソフトコピーでの書類は受け付けません。

※他にも必要に応じて書類を求められることがあります。

※上記 AOTS 所定様式は AOTS ホームページからダウンロードできます。

【英語】 <http://www.aots.jp/en/ikusei/application.html>

提出された応募書類は、2019 年 10 月 17 日（木）の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS より連絡いたします。

注：応募者が締切日時時点で 20 名に満たない場合、本コースを中止または延期します。

6. 研修コースの概要：

■ 目的

主として日本の製造業や物流業等における ICT 導入の変遷と現状について理解を深め、具体的な導入目的と技術等、日本企業の ICT 活用事例を通じて、企業経営における ICT 活用の戦略的重要性について理解を深めます。その上で、自社経営への ICT 導入・活用に必要な企業経営能力の向上を目的としています。

■ 期間

2019年11月27日（水）～12月10日（火）（2 週間）

■ 内容

- (1) ICT 発展の歴史と、発展によって企業活動がどのように変遷してきたか、また IT を活用した新たなソリューションにおける世界と日本の動向について理解を深めます。
- (2) ICT を使った企業のビジネスモデルと戦略の立て方などについて、日本企業が実践している ICT 化の事例や演習等を通じて理解を深めます。
- (3) グループ討論を通じて、参加者企業の現状と課題を共有し、自社に適した形でどのように ICT を導入・活用していくかについて考察を深めます。参加者は帰国後の具体的な行動計画を策定し、最終日に発表します。

コースは通常午前 3 時間、午後 3 時間の講義からなり、夕食後にグループ討論が行われることもあります。日程表（予定）をご覧ください。

※本プログラムでは、グループ討論の時間を多く取り入れています。講義や見学、演習を通じて学んだ事を、いかに自社に活用していくかについて他の参加者や講師との活発な議論を通じて考察を深め、参加者企業を取り巻く外部環境変化にどのように対応していくべきか、自社の経営戦略の在り方を見つめ直していただきます。

■ 使用言語

講義、企業見学、演習は英語あるいは英語通訳付で行われます。コースで使用する資料と教材は英語で作成されます。

■ コースディレクター

住田 潮 博士

(株)READ 技術顧問

慶応義塾大学大学院経営管理研究科 非常勤講師

筑波大学 名誉教授

これまで慶應義塾大学経営管理研究科（現在は非常勤講師）、筑波大学大学院システム情報工学研究科（現在は名誉教授）、国際大学国際経営学研究科、米国ロチェスター大学経営大学院、シラキュース大学工学部など数多くの大学で教鞭を取る。

1981年にロチェスター大学経営大学院で博士課程、続く1987年に東京工業大学で理学博士を取得後、研究領域は理論的・機能的分野両面に亘り、応用確率論、確率過程論、金融工学、e-マーケティング、情報通信技術、生産・物流システム、組織論、国際経営比較その他広範囲に及ぶ。これらの分野で160本を超える学術論文を専門誌に発表すると共に、米国・日本両国でビジネス・コンサルタントとしても活躍する。

■ 研修場所と宿泊施設（予定）

AOTS 東京研修センター（TKC） <http://www.aots.jp/jp/center/about/tkc.html>

120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8231（受付） ファックス：03-3888-0763

7. 経費：

<日本国内の法人からお申し込みの場合>

以下の試算例をご参照ください。

【試算例 1】中堅・中小企業の場合

11/26来日・11/27～12/10研修コース参加・12/11帰国

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	<u>157,794</u>	105,196 [2/3]	52,598 [1/3]
2. 研修実施費	<u>408,000</u>	248,000	160,000
3. 国内移動費 (成田 空港 - 東京研修センター)	<u>5,260</u>	5,260	
合計	<u>571,054</u>	<u>358,456</u>	<u>212,598</u>

【試算例 2】一般企業の場合

11/26来日・11/27～12/10研修コース参加・12/11帰国

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	<u>157,794</u>	52,598 [1/3]	105,196 [2/3]
2. 研修実施費	<u>408,000</u>	204,000	204,000
3. 国内移動費 (成田 空港 - 東京研修センター)	<u>5,260</u>	5,260	
合計	<u>571,054</u>	<u>261,858</u>	<u>309,196</u>

【試算例 3】一般企業（アフリカからの受入）の場合

11/26来日・11/27～12/10研修コース参加・12/11帰国

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	<u>157,794</u>	78,897 [1/2]	78,897 [1/2]
2. 研修実施費	<u>408,000</u>	218,000	190,000
3. 国内移動費 (成田 空港 - 東京研修センター)	<u>5,260</u>	5,260	
合計	<u>571,054</u>	<u>302,157</u>	<u>268,897</u>

※受入費は下記受入費基準額一覧をもとに計算しております。

※渡航費は補助対象外となります。

※別途、運営賛助金のお支払いについてご相談させていただきます。

※研修コース参加後に実地研修をご希望の場合、経費については、AOTS研修・派遣業務部 研修業務グループ（10．お問い合わせご参照）にお問い合わせ願います。

※中堅企業とは資本金 10 億円未満の企業、中小企業とは中小企業基本法に規定する中小企業、一般企業とは中堅企業、中小企業以外の企業をいいます。

◎受入費基準額一覧

AOTS 研修センター 宿舎費・食費	来日日のみ	8,180 円/泊
	来日日以外	9,020 円/泊
研修旅行時	宿舎費	10,267 円/泊
	食費	2,620 円/泊
雑費		1,040 円/泊

※上記金額は消費税 10%適用（2019 年 10 月 1 日施行予定）時の金額です。ただし、国内移動費については鉄道会社の消費税 10%適用時の運賃、料金が発表されていないため現状の金額を掲載しています。

<海外の法人からお申し込みの場合>

英語版募集要項(The Program Outline)をご参照下さい。
(http://www.aots.jp/jp/ikusei/management/files/19pict_e.pdf)

8. 査証 (V I S A) の取得について :

(1) 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

(2) 査証の取得

AOTS 研修参加者は、AOTS が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって在外日本国大使館/総領事館 (以下「在外公館」とする) にて「研修」査証の申請をし、査証を取得していただきます。ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合がありますので時間に余裕をもって申請願います。

(3) 注意事項

既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」、「A P E C ・ビジネス・トラベルカード (A B T C)」等、「研修」以外の査証を取得している方、または査証免除国・地域からの参加者は、既存の査証が日本での研修コース参加という滞在資格に合致しているかについて、必ず最寄りの在外公館にて事前確認してください。

9. 個人情報の取扱いについて :

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

(1) 個人情報の管理者： 一般財団法人海外産業人材育成協会 総務企画部長

連絡先： 総務企画部 総務グループ

電話： 03-3888-8211 E-mail: kojinjoho-cj@aots.jp

(2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、研修生受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。それ以外の利用目的又は法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。

尚 AOTS の個人情報保護方針は、<http://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html> をご覧ください。

10. お問い合わせ：

一般財団法人 海外産業人材育成協会

日本国内の法人を通じてのお申込の場合

研修・派遣業務部 研修業務グループ

住所 〒104-0061 東京都中央区銀座 5-12-5 白鶴ビル 4階

電話：03-3549-3051

Fax：03-3549-3055

E-mail: g-ukeire-ak@aots.jp

海外の法人から直接のお申込の場合

事業統括部 海外協力グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東 1丁目 30-1

電話：03-3888-8256

Fax: 03-3888-8264

E-mail: shouhei-au@aots.jp

海外事務所

バンコク事務所 (Bangkok Office)

次長 戸田 英信

住所：Nantawan Building 16F, 161 Rajadamri Road, Pathumwan, Bangkok 10330

電話：66-2-255-2370

Fax：66-2-255-2372

E-mail: information@aots.or.th

ジャカルタ事務所 (Jakarta Office)

所長 田中 雅聡

住所：3A Floor, Graha Mandiri, Jl. Imam Bonjol No. 61, Jakarta 10310

電話：62-21-230-1820～1

Fax：62-21-230-1831

E-mail: information@aots.or.id

ニューデリー事務所 (New Delhi Office)

所長 神田 久史

住所：Office Unit 12A, Rectangle One, D-4 Saket District Center,
New Delhi, 110017

電話：91-11-4105-4504

E-mail: info@aots.org.in

ヤンゴン事務所 (Yangon Office)

所長 馬場 宏和

住所：Room Unit 401, Yuzana Hotel 4th Floor, 130 Shwe Gon Taing Road, Bahan Township, Yangon

電話：95-1-8604922

E-mail: info@aots.org.mm

※各国の海外協力団体についての情報は事業統括部海外協力グループにお問合せください。

成長市場における ICT 活用研修コース[PICT] 日程 (案)

2019年11月27日～12月10日

AOTS 東京研修センター(予定)

月/日	午前 (9:30-12:30)	午後 (13:30-16:30)	夕方 (16:30-17:30)
11月26日 (火)	(来日)		
27日 (水)	オリエンテーション/ 開講式	講義: ICT 発展の軌跡 -アナログからクラウドコンピューティン グへ	討論: グループ討論 (1)
28日 (木)	講義: 日本の製造業における ICT の戦 略的活用事例	講義・演習: ICT 活用の現状と将来(1) -ICT は企業経営の何を変えたか -製造、物流、マーケティング、ファイナ ンス、研究開発等への ICT 活用	討論: グループ討論 (2)
29日 (金)	講義・演習: 製造業とサービス業における ICT の戦略的活用 -日本と海外の比較分析		討論: グループ討論 (3)
30日(土) 12月1日 (日)	休日		
2日 (月)	講義: ICT を用いた生産・物流 の統合 (1) -日本を代表する建設機械、産業機械製造企 業の事例	見学:日本の物流業における ICT 活用事例	-
3日 (火)	講義: ICT を用いた生産・物流の統合 (2) -日本を代表する建設機械、産業機械製造企業の事例		討論: グループ討論 (4)
4日 (水)	企業等見学 (遠隔地)	企業見学: 日本の製造業発展の歴史、先進製造企業事例	-
5日 (木)		企業見学: 日本の製造業における ICT 活用事例 (1)	-
6日 (金)		企業見学: 日本の製造業における ICT 活用事例 (2)	-
7日(土) 8日(日)	休日		
9日 (月)	講義・演習: ICT 活用の現状と将来 (2) - ICT の限界と将来の可能性	最終レポート発表準備	-
10日 (火)	最終レポート発表	最終レポート発表/修了式	-
11日 (水)	(帰国)		

注: 1) 上記の日程は講師、見学先の都合、その他諸般の事情によって変わることがあります。

2) 夕食後にグループ討論が行われることがあります。

3) 土曜と日曜は原則として休日ですが、必要に応じて講義の予定が組まれることがあります。

PRE-TRAINING REPORT

- The Program on Information and Communication Technology in Emerging Market Economies -
[PICT]

This document will be used as a reference material in 1) the screening process of applicants and 2) the group discussion and the presentation to be held during the program by sharing with lecturers and other participants. Therefore, the applicant is requested to fill in all of the items clearly and concretely.

***AOTS will not use this information for any other purposes other than an AOTS training program.**

The report form is available here in an MS-Word format.

(<http://www.aots.jp/jp/ikusei/management/files/19pict-e.docx>)

Note: Please fill in the following items by using a personal computer or similar equipment in English.
Handwriting should be avoided.

1. Your name	
2. Your country	
3. Name of your company/ organization	
4. Outline of your organization (preferably attach an organization brochure)	
5. Your position and department (preferably attach an organizational chart, indicating your position)	
6. Your duties in detail	

<p>7. Present situation of ICT utilization in your company</p>	
<p>8. Does your company have any future plan of ICT utilization? If yes, what?</p>	
<p>9. What is the problem or challenge of ICT utilization in your company?</p>	
<p>10. Your expectations of the program in relation to the described problems</p>	

Question 3:

(For a representative)

If you have ticked “Yes, I am” in the above Question 2, please answer the following question. When you use what is learned from the AOTS training in your company, how many managers and workers would receive the benefits of this during the year after the training? Please provide your rough estimate below.

About _____ people

Question 4:

If you have ticked “Yes, I am” in the above Question 2, please answer the following question. When you use what is learned from the AOTS training, what benefits do you expect? Tick the following statement that applies to you (multiple answers allowed).

- A reduced load to the environment and energy saving will be realized.
- Technology development and product design and development will be possible in the home country.
- Production capacity will expand. [About _____] %
- Productivity will increase. [About _____] %
- Product and service quality will improve. [About _____] %
- Costs will be reduced. [About _____] %
- Market will be extended.

- Others [_____]

Question 5:

Please provide the sales amounts of your company.

Actual sales for the last fiscal year [_____] USD * 1 USD = 112 JPY

Estimated sales for this fiscal year [_____] USD * 1 USD = 112 JPY

Question 6:

The AOTS training program costs about 6,000 USD per person to run the course. Do you think the AOTS training programs produce enough benefits to justify the expense (6,000 USD)? Tick the following statement that applies to you.

- Yes
- No

Question 7:

The following question is relevant to the above Question 6. Supposing that the expense (6,000 USD) is defined as “1”, describe the benefits obtained from the AOTS training program in numerical value. Roughly assess the benefits for the next five years after the training. Tick the following statement that applies to you. A very rough estimate is fine. Your response is highly appreciated.

- Below 1.0 => Provide a specific value [_____]
- 1.0 or above and below 1.5
- 1.5 or above and below 2.0
- 2.0 or above and below 2.5
- 2.5 or above and below 3.0
- 3.0 or above => Provide a specific value [_____]

End of document